「ＷＯＲＫシートのバックアップ方法など」

ＪＰ法株価分析システムのＷＯＲＫシートのバックアップ、元に戻す方法を解説します。

ＷＯＲＫシートやＪＰシートは、ＪＰ法ソフトを再インストールしてしまうと、シートが上書きされてしまいます。

ご自身で作成したオリジナルシートは、全てなくなってしまいます。

これを避けるためには、シートのバックアップ作業が必要です。

そして元に戻す作業も覚えておかないといけません。

今回解説するＷＯＲＫシートは、C:¥WinJPPrgフォルダの中に入っています。

ファイル名は、

WORKSHT.DAY・・・日足用
WORKSHT.WEK・・・週足用
WORKSHT.MON・・・月足用

です。

一番簡単なバックアップ方法は、上記３つのファイルをＵＳＢメモリへコピーするだけです。

そして戻し方は、ＪＰ法ソフトを再インストール後、ＵＳＢメモリにある上記３つのファイルをC:¥WinJPPrgフォルダへ上書きコピーします。

これで、元に戻ります。

ホームページに置いてある WORK シートをダウンロードし、自分で作成したシートをセットするにはどうしたらよいのでしょうか。

この場合、自分で作成した WORK シートを１つ１つＣＳＶファイルへと保存し、ホームページから WORK シートをダウンロード、そして取込機能を使って、ＣＳＶファイル化した WORK シートをセットします。

この手順を紹介します。

■シートをＣＳＶファイルへ落とす（保存する）

まず、自分で作成したオリジナルシートをＣＳＶファイルを落とします。

この意味は、シート１つ１つをＣＳＶファイル形式へ保存する。という事になります。

デフォルトの保存フォルダ、ファイル名は、決まっていますが変更も可能です。

特にこだわりがない場合、このままデフォルトで作業してください。

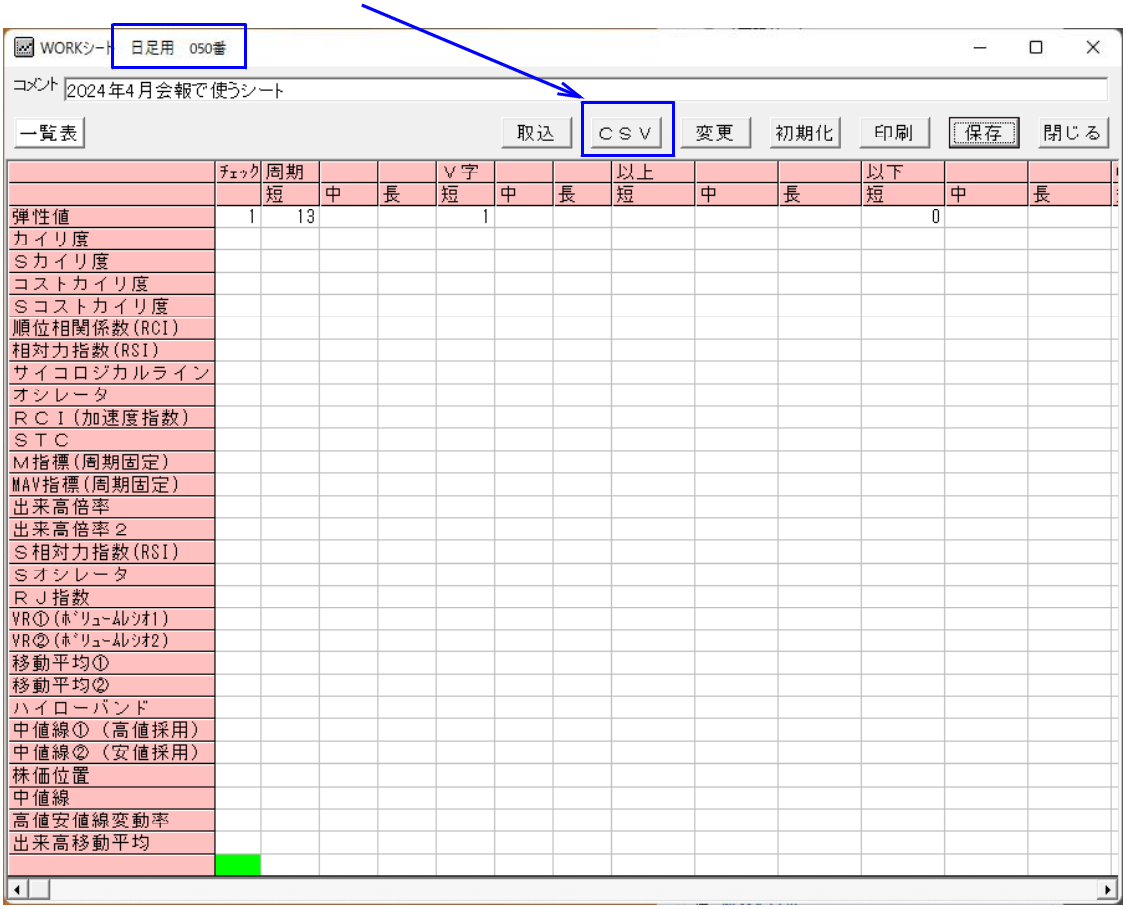
注意点は、デフォルトの場合、ＪＰ法のデータフォルダC:¥WinJPDtaへ保存しますから、このデータフォルダを削除してしまうと、せっかく保存したシートもなくなってしまいます。

紹介する手順は、ＣＳＶファイルへと保存した事を忘れないように、間髪を入れず一気におこなってください。翌日でいいや、とかではなく、すぐやります。

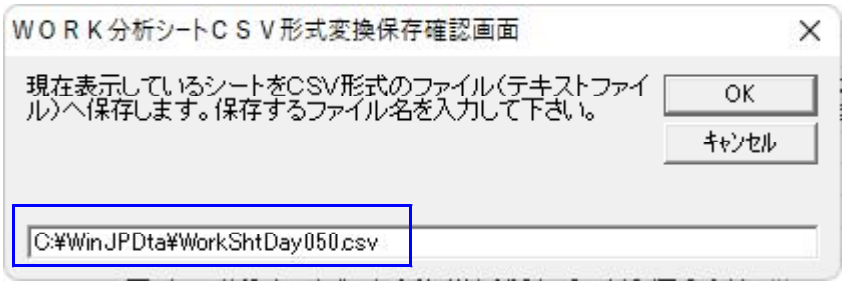
保存したいシートを表示させます。

今回は日足 50 番シートとします。

「ＣＳＶ」をクリックします。



デフォルトで下記のフォルダ＋ファイル名が表示されます。



C:¥WinJPDta¥WorkShtDay050.csv

この意味は、C:¥WinJPDtaフォルダへ、WorkShtDay050.csvというファイル名で保存する。という内容です。

変更したい場合は、手入力して変えてください。

ここでは、デフォルトでおこないます。

WorkShtDay050.csvというファイル名は覚えておく必要があります。

元に戻す時、このファイル名が必要となるからです。

「ＯＫ」をクリックすると勝手に保存されます。

特にメッセージは表示されません。

ここで、保存したいご自身のオリジナルシートが複数ある場合、1 つ 1 つ前述の手順でＣＳＶして下さい。

ここでは、50 番 1 つとします。

■ホームページから初期シートをダウンロード

プログラム修正のページには、初期ＷＯＲＫシートが置いてあります。

こちらです。日付は２０２０年５月１４日（木）です。

http://www.neuralnet.co.jp/user/progdl.html

ＷＯＲＫ分析シート 日足 WORKSHT.DAY 週足 WORKSHT.WEK	※ダウンロードすると今まで作成したWORKシートの日足・週足用は全て上書きされ消去されてしまいます。まだシートを作成していない方、上書きされても良い方のみダウンロードして下さい。 ダウンロード先は[C:¥WinJPPrg¥]フォルダです。 上書き保存して下さい。 今回の変更点 吉村先生が作成したシート群をセットしました。 日足シート一覧はこちら 週足シート一覧はこちら	２０２０年５月１４日（木）

日足と週足があります。

今回は、日足シートなので、WORKSHT.DAYをC:¥WinJPPrgフォルダへダウンロード（上書き）してください。

ここまでの手順で、日足 WORK シートが初期値となりました。

今までの WORK シート内容は全てなくなりました。

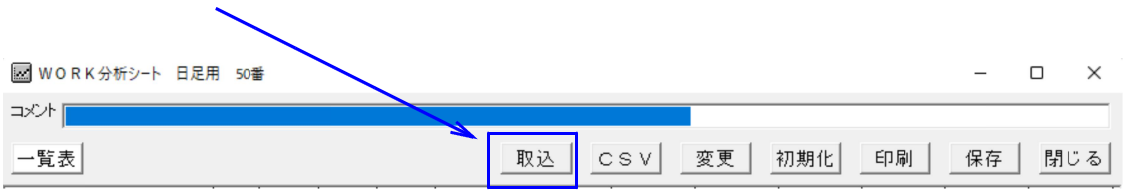
50 番シートを表示させ、確認してみましょう。

内容がなくなっています。

■シートを元に戻す

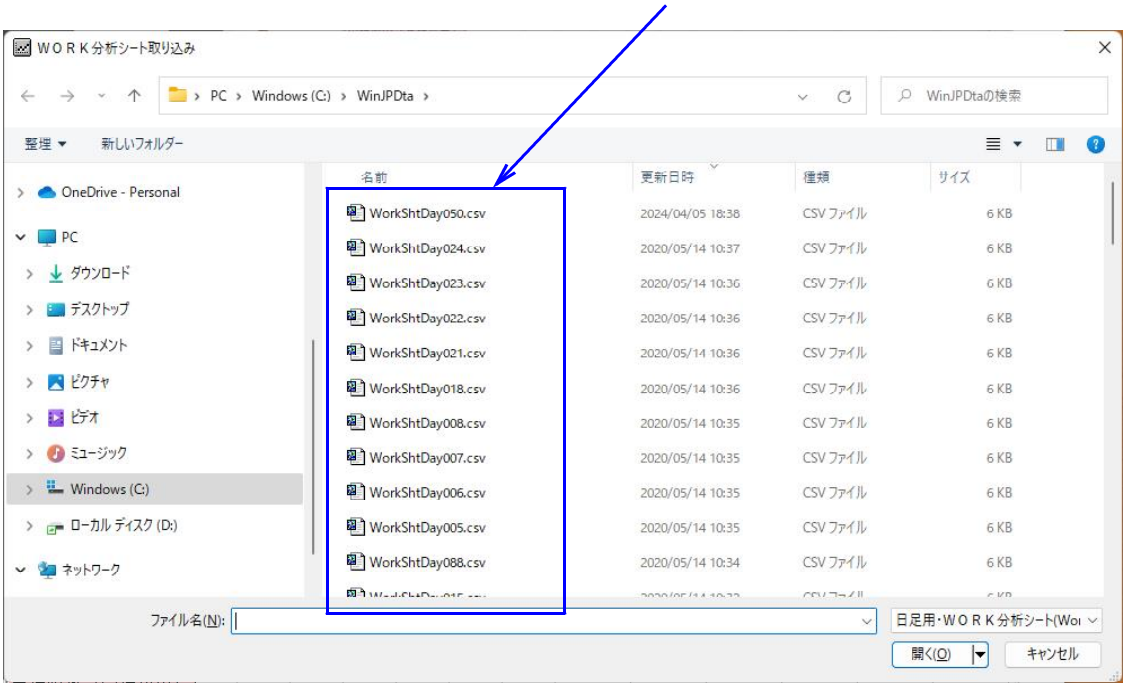
先にＣＳＶファイルへと保存した 50 番シートを元に戻してみましょう。

「取込」をクリックします。

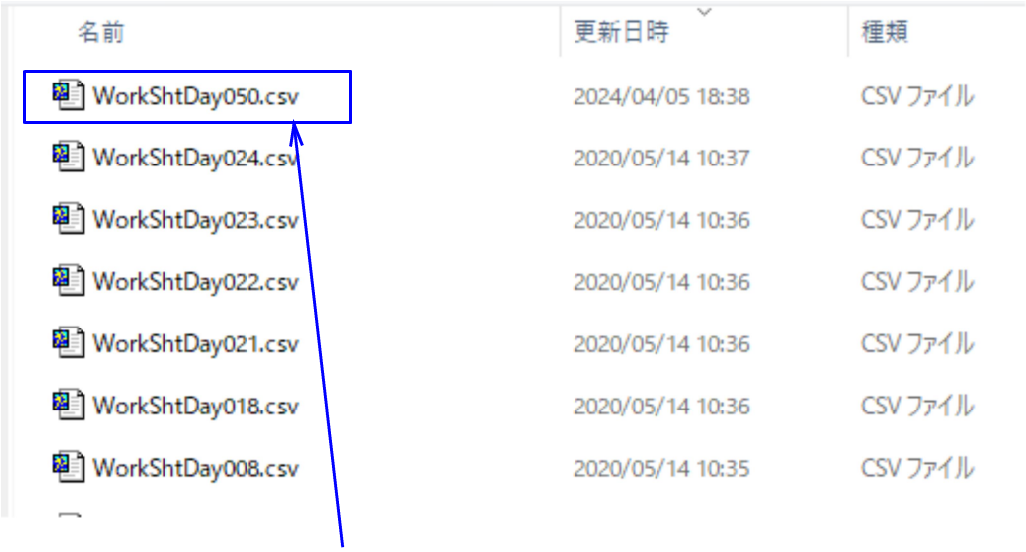


このように表示されます。

C:¥WinJPDtaフォルダにあるＣＳＶ化された日足 WORK シートが表示されます。



一部拡大

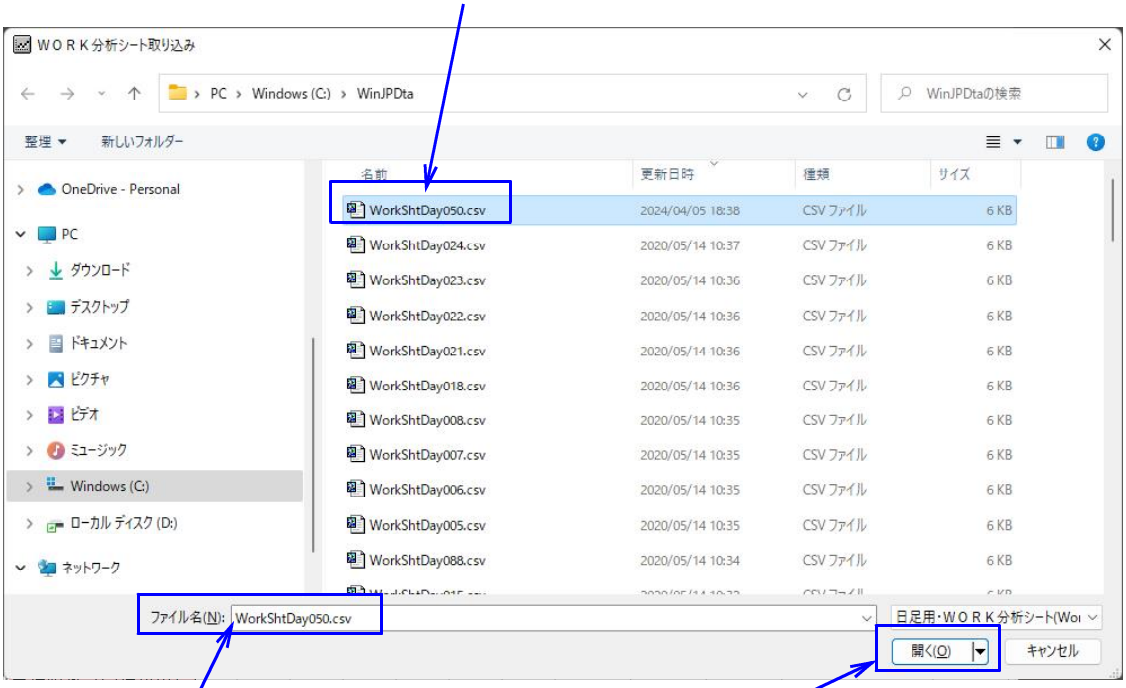


先に覚えておいてください、といっていたファイル名があります。

まず、これを見つけてください。

今回はWorkShtDay050.csv

見つけたら、そのファイル名をクリックします。



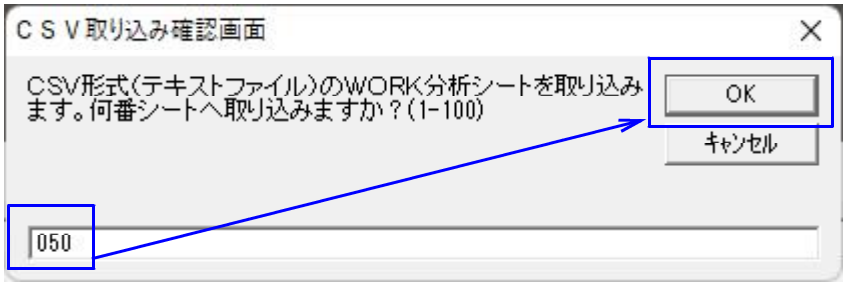
このようにファイル名のところにセットされます。

そのまま「開く」をクリックします。

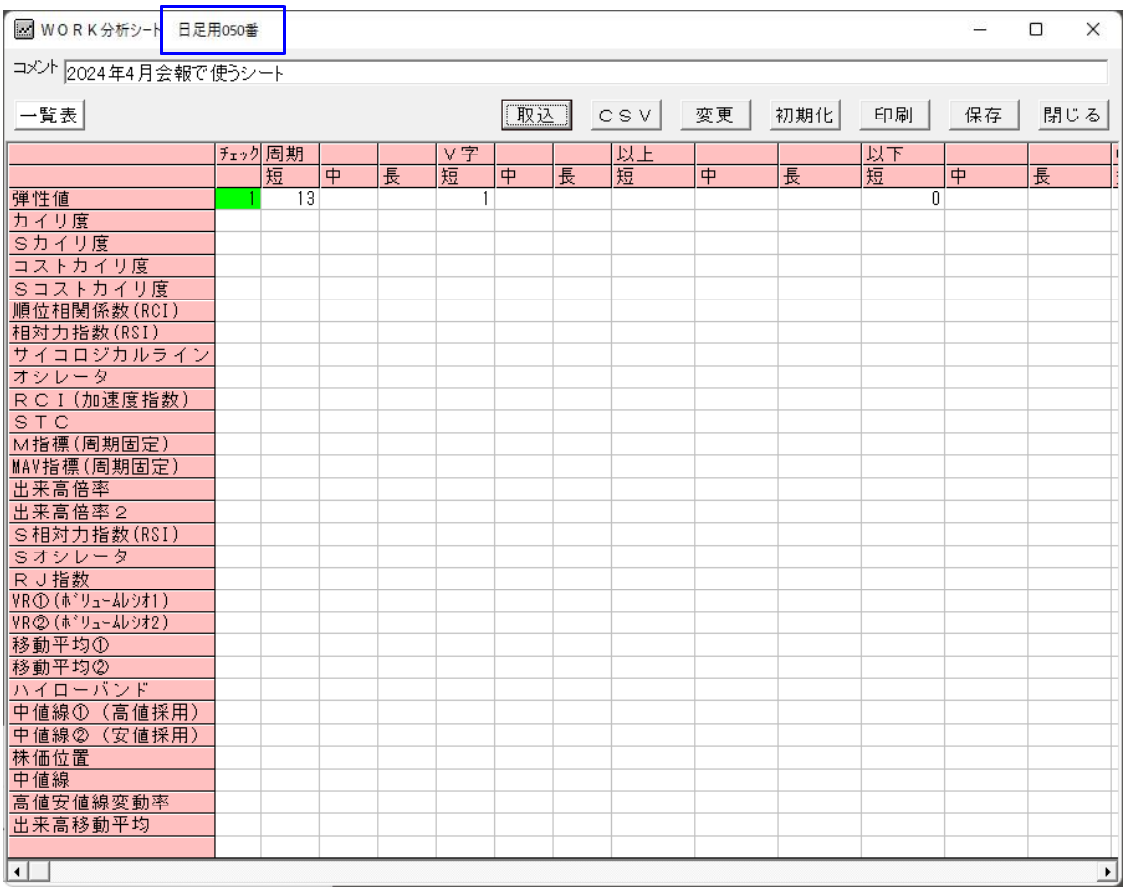
何番に取り込むかきいてきます。

ここは重要です。

通常、先にＣＳＶファイルに保存したシートは 50 番でしたから、このまま「ＯＫ」をクリックします



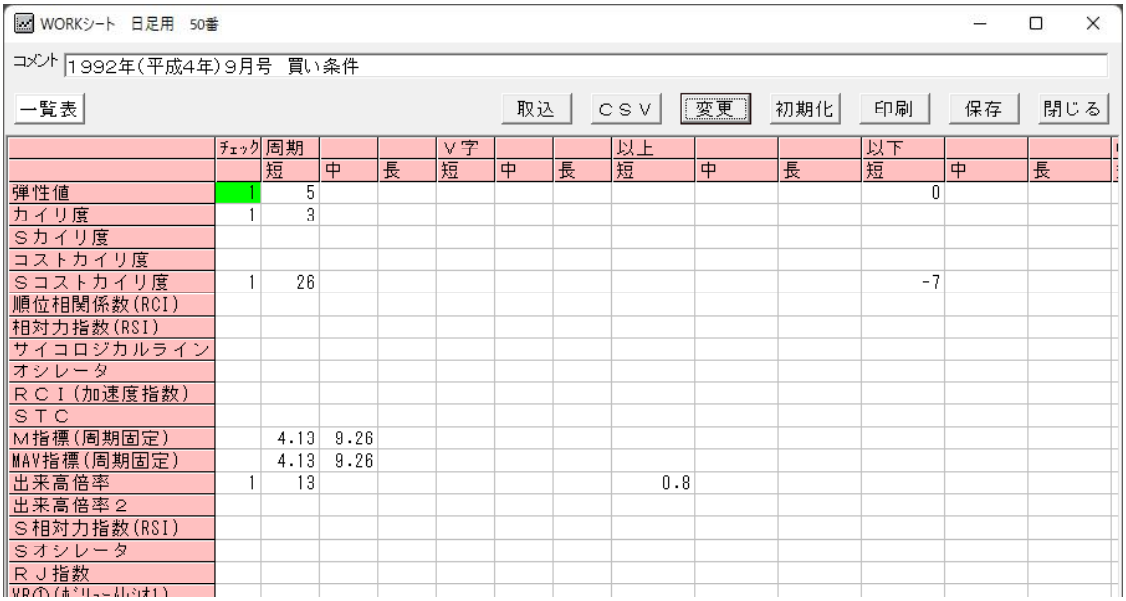
このように、50 番シートに入ってきました。



	チェック	周期			V字			以上			以下		
		短	中	長	短	中	長	短	中	長	短	中	長
弾性値	1	13			1						0		
カイリ度													
Sカイリ度													
コストカイリ度													
Sコストカイリ度													
順位相関係数(RCI)													
相対力指数(RSI)													
サイコロジカルライン													
オシレータ													
RCI(加速度指数)													
STC													
M指標(周期固定)													
MAV指標(周期固定)													
出来高倍率													
出来高倍率2													
S相対力指数(RSI)													
Sオシレータ													
RJ指数													
VR①(ﾎﾞﾘｭｰﾑﾚｼｵ1)													
VR②(ﾎﾞﾘｭｰﾑﾚｼｵ2)													
移動平均①													
移動平均②													
ハイローバンド													
中値線①（高値採用）													
中値線②（安値採用）													
株価位置													
中値線													
高値安値線変動率													
出来高移動平均													

では 50 番シートが既に使われていた場合は、どうすればいいのでしょうか

このように 50 番シートにあらかじめセットされている。



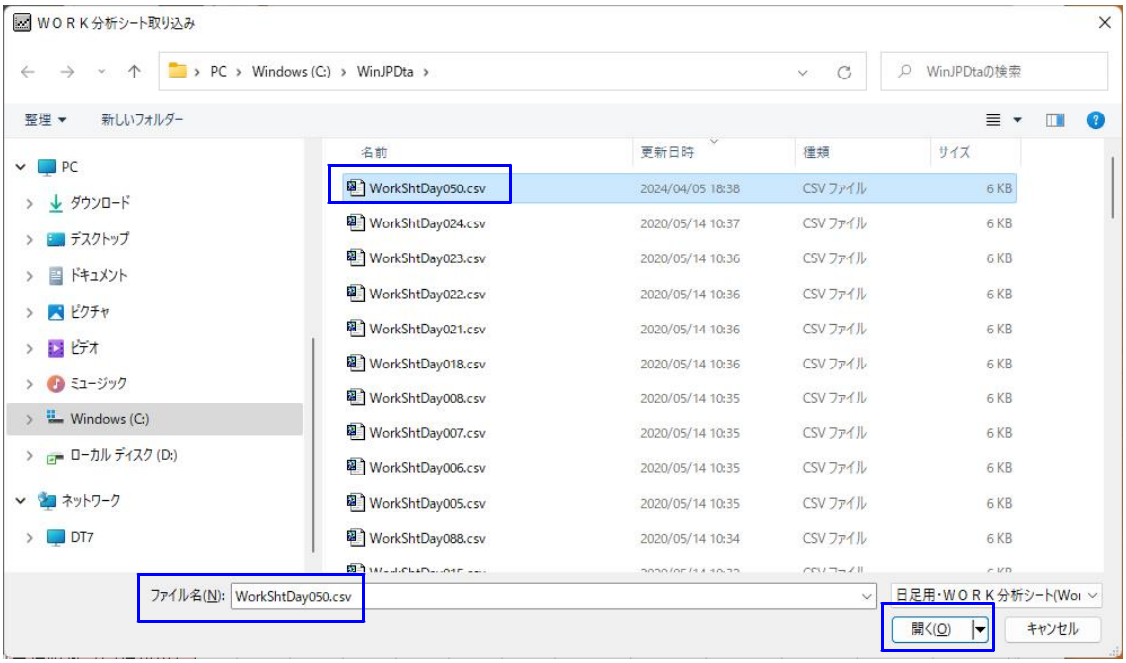
	チェック	周期			V字			以上			以下		
		短	中	長	短	中	長	短	中	長	短	中	長
弾性値	1	5									0		
カイリ度	1	3											
Sカイリ度													
コストカイリ度													
Sコストカイリ度	1	26									-7		
順位相関係数(RCI)													
相対力指数(RSI)													
サイコロジカルライン													
オシレータ													
RCI(加速度指数)													
STC													
M指標(周期固定)		4.13	9.26										
MAV指標(周期固定)		4.13	9.26										
出来高倍率	1	13						0.8					
出来高倍率2													
S相対力指数(RSI)													
Sオシレータ													
RJ指数													
VR①(ﾎﾞﾘｭｰﾑﾚｼｵ1)													

このシートに上書きしてもいいなら、前述の手順です。

このシートを残して別なシートへ保存する場合はこのようにします。

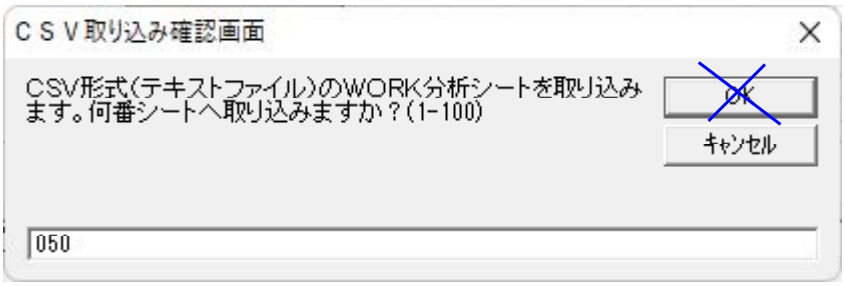
■別な番号へシートをセットする

「取込」をクリックし、先と同じ手順をします。



この画面が重要です。このまま「ＯＫ」をクリックしてしまうと、50 番へ保存されてしまいます。

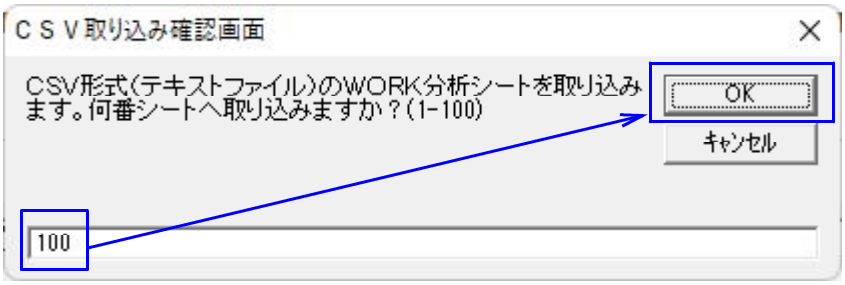
保存するシート番号を変更します。



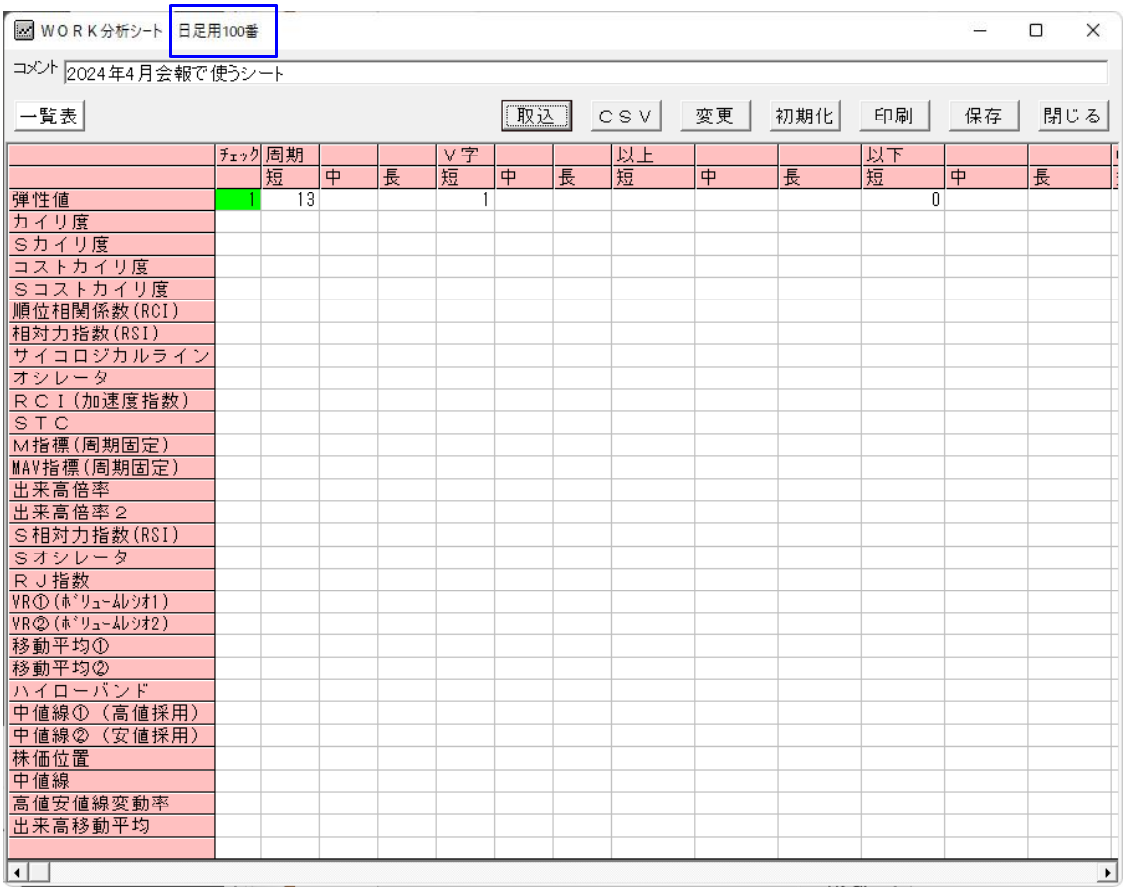
このままＯＫを押さない。

番号を変更してからＯＫを押します。

100 番へ保存します。



100 番シートへ保存されました。



複数保存したいシートがある場合は、この作業を繰り返してください。

元に戻す時の注意点は、既に内容がセットされていた場合、上書きしてもいいかという事です。

上書きしたくない。という事あれば、別な番号へ保存します。

ここでは、サラリと流しましたが、この別な番号、今回でいうところの 100 番ですが、この番号にも内容がセットされていたら、上書きされてしまいますので注意が必要です。

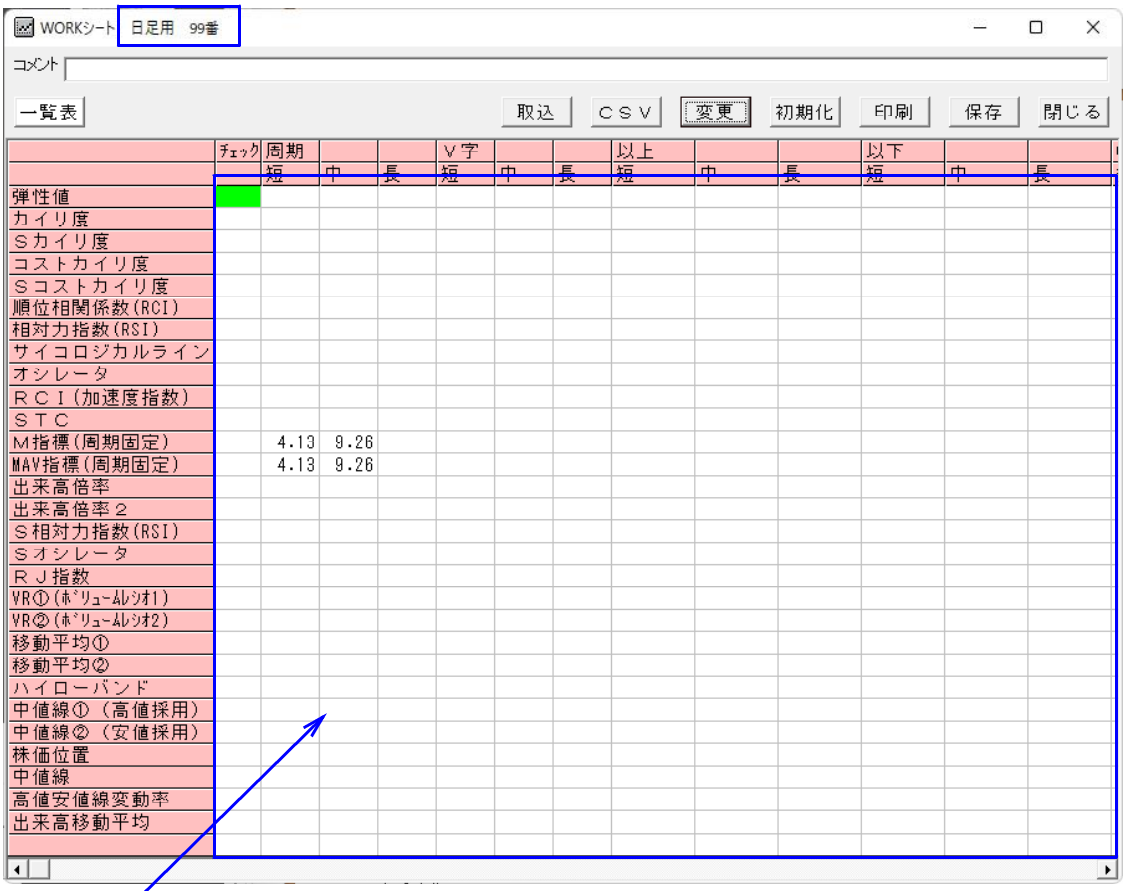
元に戻す場合、空いている番号かどうか確認してから、「取込」をしたほうがいいでしょう。

■シートが空かどうかの確認

まず、取り込みたい番号のシートを表示させます。

99 番にＣＳＶファイルへ保存したシートをセットしたい。

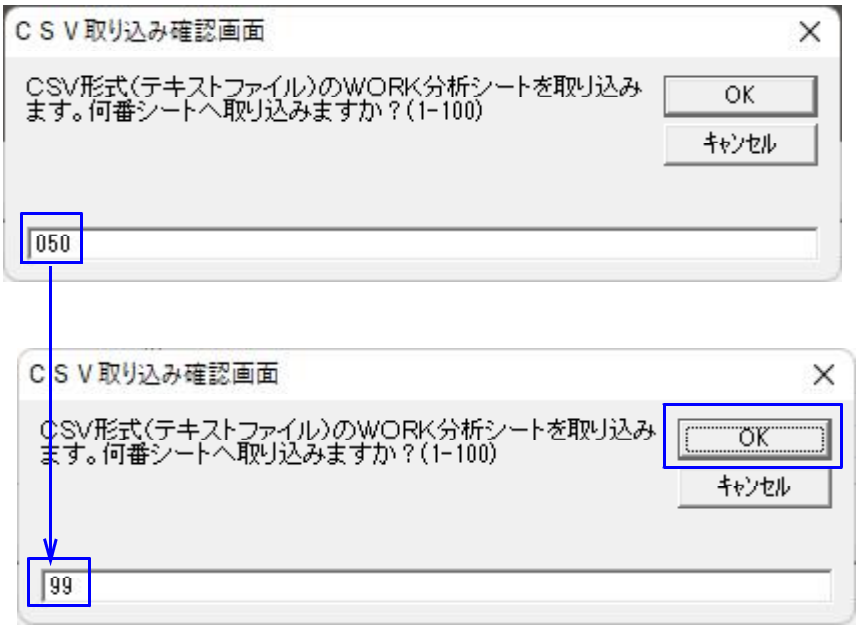
99 番を表示させます。



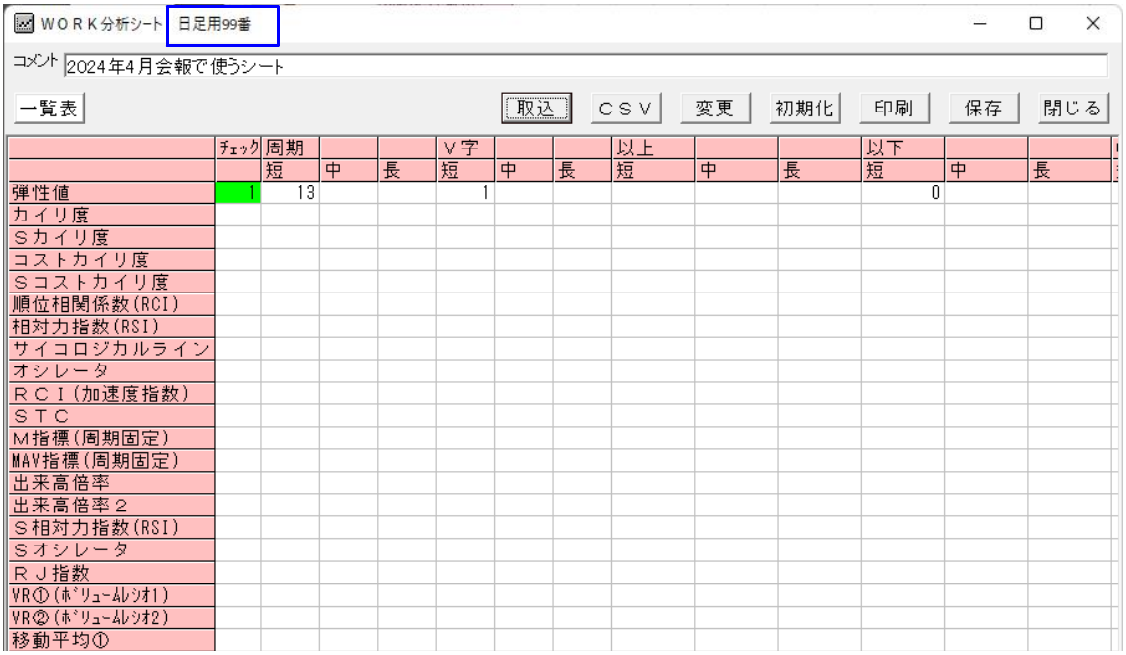
シートは空

そして「取込」をクリックし、一連の手順を添付すすめていき、

ここで表示されている 50 番を 99 番へ変更し、ＯＫをクリックします。



99 番に保存されました。



今回は、最初に 50 番シートを保存（ＣＳＶ）しました。

なので、「取込」をクリックしていくと、必ず 50 番に保存する画面となります。

ここでうかつに「ＯＫ」をクリックしないようにしましょう。